

木づかいガイドライン作成関連資料

1 平成 27 年度 木づかいガイドラインの活動方針について

- ① 平成 26 年度に作成した提案型「木づかいガイドライン さあ～しよう」の原案を基本に、各提案項目について提案が可能なものから順次提案者へ原稿を依頼して作成業務を行う
- ② 「木づかいガイドライン」は、こうした方法で順次提案者に作成依頼を図りながら、その内容を増やしていく
- ③ 並行して開催する「木づかいライブ・スギダラキャラバン」は、「木づかい」推進のリーダー役を務める根羽村森林組合がまとめ役となって、里山市民グループ・地元工務店・地域の団体等と連携しながら、流域内の様々なイベントとジョイントを図り、地域に活力を生み出す元気な人の輪を育成する
- ④ 「木づかいライブ・スギダラキャラバン」開催を通して、「森づくりガイドライン・木づかいガイドライン」等の森づくりと木づかい情報を発信して、矢作川流域の森林資源・木づかい推進活動を紹介しながら、森や木づかいのファンを増やしていく
- ⑤ 同時に、木育アイテムや「どこでもシリーズ」等スギダラ商品の開発を図りながら、矢作川の流域材を活用した楽しい「木のある暮らし」を広く市民に提案して、その普及と定着を図る
- ⑥ こうした楽しい「木のある暮らし」の普及を基本として、市民自らのアイデアと行動で身近なあらゆる生活空間をスギダラケにする市民活動を生み出し、「人生を楽しみ愛する家族と共に幸せに暮らす 森や木とそれを育む矢作川の流れと共に生きるライフスタイル 矢作川ディズ」を確立する

平成 27 年 9 月 22 日

「矢作川流域ものさし」の製作について

- 1 どんな樹種を使うか
矢作川流域にある針葉樹・広葉樹 約 20 種程度か
- 2 どのようにして決定するか
矢作川流域を数キロメートルのメッシュ化で代表的な樹種を選定
- 3 どんな寸法、デザインにするか
天竜川流域ものさしと同様・組木のパターンを小粥さんが検討
- 4 材料の入手先は
根羽村森林組合等他森林組合、流域内材木屋をリスト化
- 5 森林組合スタッフは
小野隆治・稲垣晃
- 6 どのように製作するか
小粥さんから指導を受ける・場所は浜松市と根羽村
- 7 製作体験と意義づけは
小中学生を対象に製作指導、「私の流域ものがたり」のフォーマット作成
一般者向けに「私の流域ものがたり」と絡めた「流域を考えるネットワーク」(スギダラ)
- 8 補助事業上の条件
平成 28 年 2 月までに「流域ものさし」100 個製作
- 9 森林組合側の補助金財源 209 万円
動く木のおもちゃ 大型 10 種
小型 5 種
流域ものさし 100 個

2015.9.22(火)@根羽村森林組合
今村様、小野様、小粥、袴田

【行うことの確認】

- 2月の下旬までに、流域ものさし100本を作る。
(100本のうちに、ワークショップで作成したものを含む)
- ワークショップで子供達が楽しめるタイプの流域ものさしと
小粥デザインに忠実な流域ものさしの2種を作成する
- ものさしについて、今後、販売することがあれば、小粥さんへのロイヤリティは10%とする。
※今回製作の100本はロイヤリティは発生しない
変更の希望があればお互い遠慮なく伝えましょう。

【材料と加工とスケジュール】

- 長さ1m、直径○○cmくらいでまっすぐなもの 流域にある樹種20種程度を目安
→今村さんが、次の流域会議で提案し、各地区のみなさんに集めていただく(10/10メド)
→小野さんのところに集約、カット、自然乾燥
□自然乾燥には1ヶ月ほどかかるため、材料の集約は早めに
→小野さんにて、ものさしを作れる部材に仕上げる(11月内)
- ワークショップは12/5(土)を予定

【ワークショップ】

- 12/5(土)を予定。材料の集まりによっては年明け・・・?
- 根羽村の小、中学生に声をかける。親子で参加?
- 会場は、しゃくなげホール(収容人数が多いため。床が絨毯なのでブルーシートなど木屑対策をする)
- 内容

流域とそれぞれの樹種について意識するレクチャーおよび「私の流域物語」の作成、
各自のものさしを作る。

- ・自分と川、その流域とのつながりを意識できるように。
- ・それぞれの樹種が何か、流域のどのあたりにある木か意識してものさし作りができるように。
- ・ワークショップのものさしでは、材料を細かめに作り、参加者が自由に並べる方式にする?
(上流/下流の並べ方よりも、参加者の関われる範囲を広げて楽しめることを優先)
- ・目盛をどのように入れるのか、要検討

「私の流域物語」_フォーマット案作成(袴田)

ワークショップものさしの案作成(小粥)

【その他】

展示用に大きなバージョン(10万分の1など)を作っても面白いかも。

参考資料

一級水系番号リスト http://www.japanriver.or.jp/river_law/map.htm

矢作川流域委員会会議資料

http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/kaigi/yahagigawa/ryuiki-iinkai/ya_prepare/h150307/sr04.pdf

平成 27 年 4 月 6 日

全国スギダラケ倶楽部天竜支部とスギダラ矢作川流域支部とのコラボ企画について

全国スギダラケ倶楽部

矢作川流域支部長 根羽村森林組合 今村 豊

1 全国スギダラケ倶楽部 天竜支部からのメッセージ

浜松市を拠点に活動するフリーランス・デザイナーの小粥さんが、2012 年、天竜川流域に存在する樹木を使って「スケール NO50」を製作されました。

このスケールは、天竜川の全長 213km を表現するため、100 万分の 1 のスケールの長さである 21.3cm をスケール長とし、かつ天竜川流域に存在する約 20 種の樹木を様々な長さの小さな組木に加工して、手加工で組み合わせて接着し、流域内の豊かな森林資源の存在を表現したカラフルでかわいらしい、おしゃれなスケールに仕上げました。

デザイナーはこのスケールを手にしてもらうことによって、天竜川の長さを認識し、かつこの流域には豊かな樹木が存在すること、流域内の様々な営みが実は有機的に結びついて「流域はひとつ」であることを認識してもらいたいと思っています。

このスケールの存在を知った全国スギダラケ倶楽部天竜支部の袴田さんが、そのコンセプトに共感し、あらゆる地域で、上流域の方が下流域の方を思いやり、下流域の方が上流域を思いやるそんな「素敵な関係」をこのスケールをきっかけにしてつくりあげたい、と願っています。

例えば、こんな風に

「スケールの出発地点は諏訪湖です。皆さんは源流から一体どれだけ離れた所に住んでいるのでしょうか。どこに住んでいる方と友達なのでしょうか。その方々はどんな暮らしをされているのでしょうか。皆さんが好きな森はどこにあるのでしょうか。そんな様々なことをひとり一人がこのスケールに印を付けて、皆で手に持って集まり、そして語り合ってみませんか。お互いに付けた印を見つめ合って、「森と水と暮らしを楽しむ私の物語」を聴かせてください。

天竜支部では、天竜川の流れを絆にして、流域内の様々な立場の方に「スケール NO50」を手にしていただき、こうした流域に住むひとり一人の「私の物語」を交換し合い、「上流域と下流域の素敵な関係」を築きたいと思っています。そして、全国の流域の方々にも、こうしたスケールを作ってもらって、「流域をひとつ」にしていだければと思います。」

2 全国スギダラケ倶楽部 天竜支部からのメッセージを受けて

矢作川流域支部では、今回のメッセージを受けて矢作川流域支部でも同様な「スケール NO52」の製作に取り掛かりたいと思います。

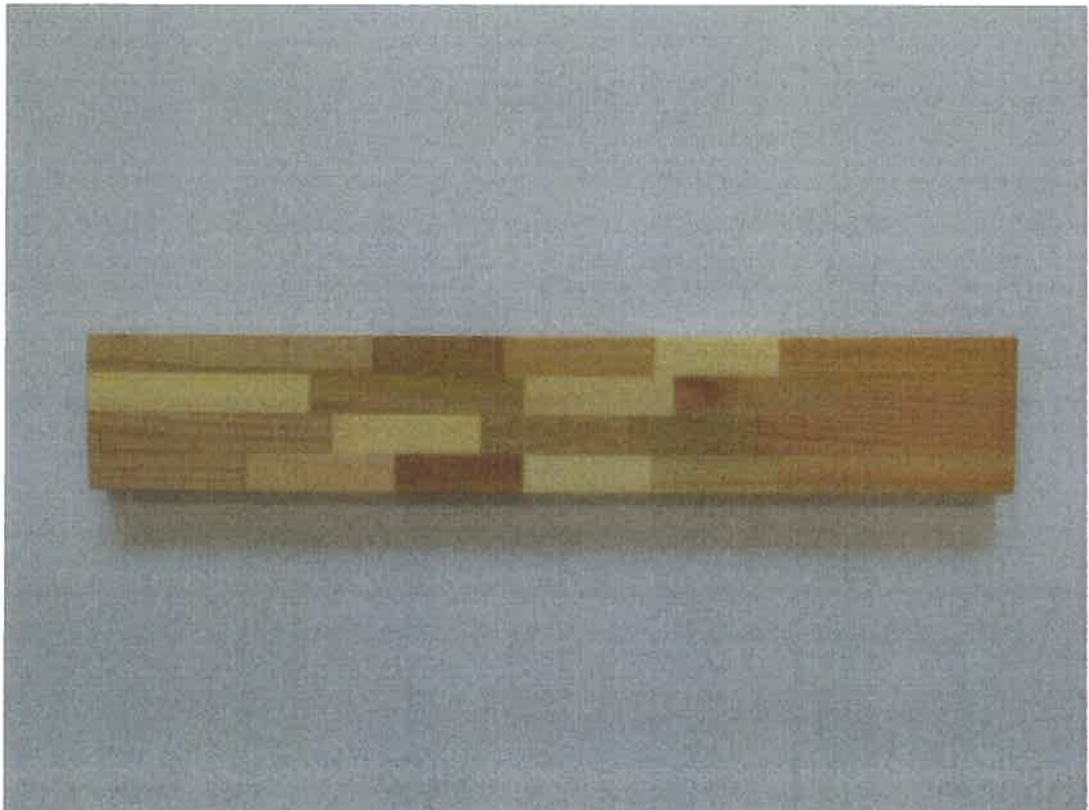
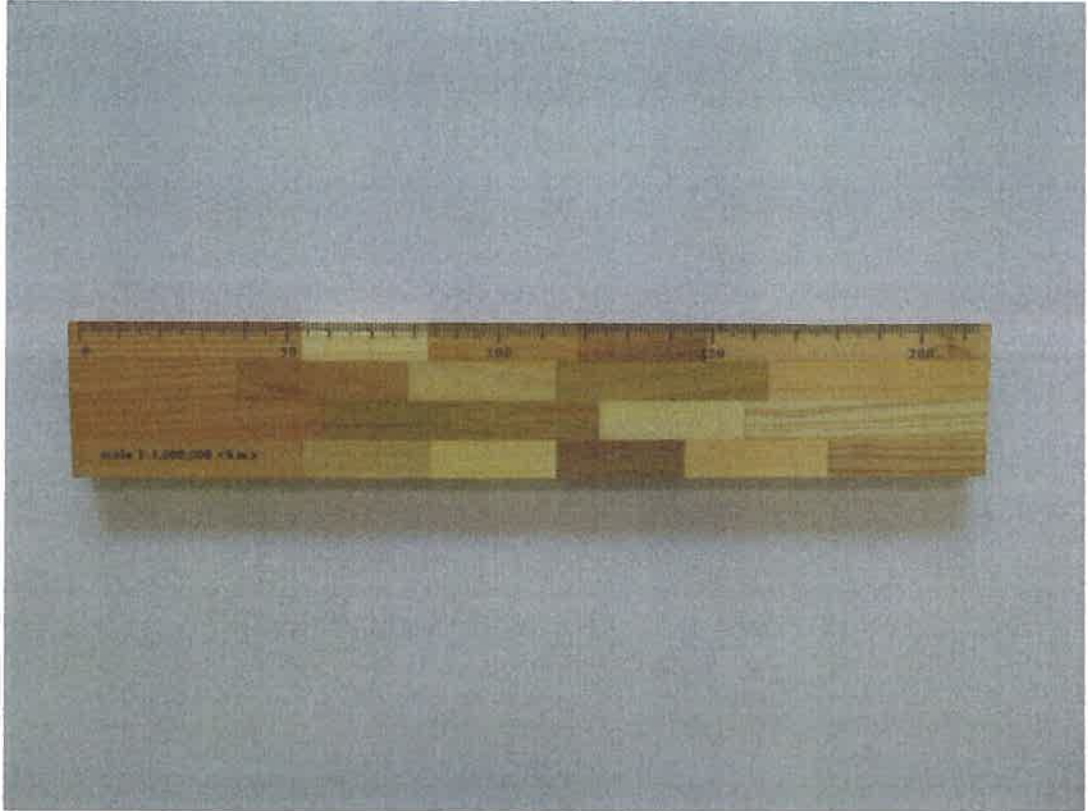
また、この製作を通して誰もが上流域にある様々な木を簡単に入手できる仕組みを見える化したいと思います。矢作川流域の山・川・海のそれぞれの立場の方々が、このスケールを「流域はひとつ 運命共同体」を再認識する共通アイテムとして手に持ち、ひとり一人がこのスケールに印や刻みを入れて、流域の中にある「私の物語」を始めていきたいと思います。

こうしたスケール製作の取り組みを矢作川流域圏懇談会山部会の正式活動とし、「木づかいライブ スギダラキャラバン」の活動の一環として取り組みたいと思います。製作予算については、天竜支部と矢作川流域支部のコラボ企画として、取得に向けて努力します。なお、「スケール」のデザインは、デザイナー（小粥）に委託し、デザイン料も予算内に含めることとします。

また、天竜支部も意図されているように「スケール」のアイテムから「流域をひとつ」にするこうした取り組みを、全国スギダラケ倶楽部にも波及させたいと思います。

注) 矢作川の河川 NO は NO52 です。

天竜川流域ものさし 試作品



27 「木づかいライブ・スギダラキャラバンの実績及び予定」

NO	イベント名	開催日	場所	備考
1	ほんわか里山祭り	3/22	豊田市 笹戸温泉	
2	オールアイシン家族祭り	5/17	刈谷市 アイシン高丘工場	
3	ワイルドツリーコラボイベント	5/24	伊那市 旧市役所広場	
4	TASKIサミット	7/7	根羽村	
5	豊田市Tフェイスアウトドアフェスタ	7/18	豊田市 Tフェイス	
6	アイシン夏の陣	7/25	根羽村	
7	安城市デンパーク無料開放デー	7/25	安城市 デンパーク	
8	わくわくネイチャースクール	7/30.31	根羽村	
9	全国水源サミット	9/4.5.6	根羽村	
10	中房温泉ツアー	9/12.13	安曇野市	
11	信州大学農学部カラマツ祭	9/18.19.20	南箕輪村	
12	足助夢里まつり	9～10月	豊田市	
13	建築総合展	10/1.2.3	名古屋市 吹上ホール	
14	あそべるとよたプロジェクト	11/1.2.3	豊田市 駅前広場	
15	メッセナゴヤ 2015	11/3.4.5.6	名古屋市 メッセナゴヤ	